

令和8年

4月-6月

No.90

Manufacturing
industry

Business
trend

ちばしんきん

Wholesale
Trade

景況レポート

NEWS report

Retail
Trade

Real
Estate

Services

Construction

INDEX

- 企業Interview 株式会社食研 P2
- 地域景気Report 全業種 P3 小売業 P4 不動産業 P5
- 製造業 P4 サービス業 P5 特別調査 P6
- 卸売業 P4 建設業 P5
- 千葉信用金庫からのお知らせ P7



千葉信用金庫



＝ 株式会社食研 ＝

食研版QMSが支える「安全を前提としたおいしさ」

株式会社食研は、冷凍食品や食品機能製剤の開発・製造・販売を手がける食品メーカーである。食品機能製剤の研究開発で培った技術を礎に、現在は冷凍食品、とりわけ冷凍とんかつ分野で存在感を高めている。工場でフライ調理した後に急速凍結し、電子レンジで温めるだけで揚げたてのような品質を再現する技術確立し、現在では商品の8割以上が電子レンジ調理に対応。生協限定の「甘辛チキン南蛮カツ」は発売20周年を迎え、18品を展開する代表的なシリーズへと成長した。

経営理念「『人づくり』と『ものづくり』で、お客様を“もっと”笑顔に!」のもと、「指示待ち組織」ではなく「自立型組織」を目指すとともに、「安全を前提としたおいしさの追求」を実践。2014年にFSSC22000、2026年にはISO/IEC 17025を取得し、問題を未然に防ぐ仕組みとして独自の品質マネジメントシステム「食研版QMS」を構築・運用している。



100年企業への道標「Connect2028」

代表取締役社長・新井 裕氏は、2024年に創業60周年を迎えた節目を「第三創業期スタート」と位置づけ、第7次中期経営計画「Connect2028」を始動した。最終年度の目標として掲げる「売上高100億宣言」は、売上規模の拡大だけを目指すものではなく、100年企業への成長に向けたマイルストーンであり、社員一人ひとりが新たな価値を創出するための共通目標でもある。この計画では、業務・財務・人材・組織・製造・事業の6つの基盤改革を推進。AI・DXへの対応、人材育成や評価制度の見直し、商品開発体制の強化に加え、豊橋工場の生産性向上や千葉工場の再構築にも取り組み、設備と組織の両面から将来を支える強固な経営基盤の確立を目指している。



代表取締役社長 新井裕氏

未来につなぐ環境・社会への取り組み

同社は持続可能な社会の実現に向け、環境保全と社会貢献を重要な経営課題に位置付けている。環境面では、フードロスや排水量の削減に取り組むほか、2026年7月から千葉・豊橋両工場に太陽光発電システムを導入し、一部使用電力を自然エネルギーへ切り替えることで、CO₂排出量の削減を進めている。社会貢献においては、2020年から両工場でもペットボトルキャップを回収し、生協を通じて認定NPO法人へ寄付する取り組みを継続。これまでに約15万個を回収し、約370人分のワチン支援につなげてきた。さらに、近隣企業と協働した海岸清掃など地域に根差した活動にも取り組み、今後は地域社会とのつながりを一層深めながら、「食」を通じた社会貢献を目指していく。



道 標 沿 革

- 昭和38年 株式会社食品化学研究所を設立
- 昭和41年 社名を株式会社食研に改称
- 昭和45年 本社を千葉市に移転
- 平成22年 千葉市緑区に本社・千葉工場を新設
- 令和 5 年 豊橋市細谷町に豊橋工場を新設
- 令和 7 年 東京営業所を開設
- 令和 8 年 本社を千葉市新町センシティタワーへ移転

企業 DATA



株式会社食研
住 所：千葉県千葉市中央区新町1000
センシティタワー11階
TEL: 043-301-3980(代)
創 業：昭和38年(1963年)
URL: <https://www.shokuken.co.jp>

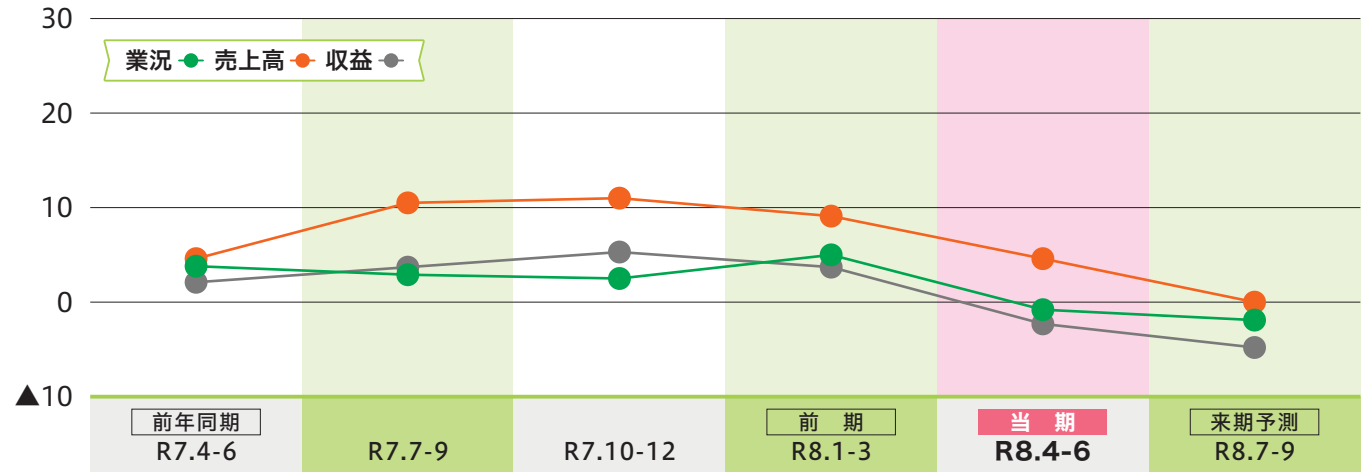
全業種



底堅く緩やかな持ち直し傾向

- 業況DIは前期から当期にかけてやや数値減少傾向にあり、来期予測についても減少予測となっている。
- 売上高はプラス水準となるも、伸びの鈍化や収益性の悪化が目立っている。
- 当期は厳しさがみられたものの、売上基盤は維持されており、今後は緩やかな持ち直しが見込まれる。

調査日	前年同期 R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12	前 期 R8.1-3	当 期 R8.4-6	来期予測 R8.7-9
業 況	3.8	2.9	2.5	5.0	▲ 0.8	▲ 1.9
売 上 高	4.6	10.5	11.0	9.1	4.6	0.0
収 益	2.1	3.7	5.3	3.7	▲ 2.3	▲ 4.8
販売価格	28.0	25.8	25.9	23.4	30.5	23.8
仕入価格	47.9	45.0	46.4	47.7	61.5	51.8
在 庫	▲ 3.1	▲ 5.2	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 3.8
資金繰り	▲ 3.8	▲ 6.6	▲ 6.1	▲ 4.4	▲ 3.6	▲ 5.7



調 査 | 概 | 要 |

本調査は、当金庫お取引先のご協力を得て調査したもの。
当金庫営業地域の経済動向把握と共に、地域の中小企業の皆様に経営の参考にしていただくためにまとめた。

- 調査対象時期 当期(令和8年4月～6月)、来期(今後3ヶ月:令和8年7月～9月の見通し)
- 調査企業先数 有効回答数475社
(内訳:製造業73社、卸売業47社、小売業108社、サービス業85社、建設業99社、不動産業63社)

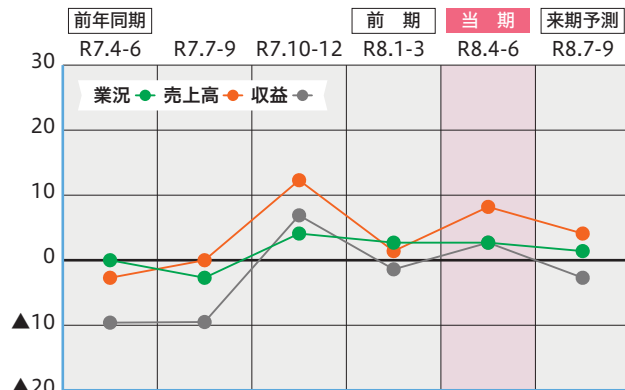
■ DIの説明
DIとは、「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と答えた企業割合から「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と答えた企業割合を差し引いた数値のこと。
「良い」には『やや良い』を含み、「悪い」には『やや悪い』を含みます。「増加」「減少」等、他の項目も同様。
これら数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさの程度によって、景気変化の方向を時系列的な推移の中で分析することを目的としている。

本レポートは標記時点における情報提供を目的としている。また、本レポート掲載内容は当金庫が正確性および完全性を保証するものではない。

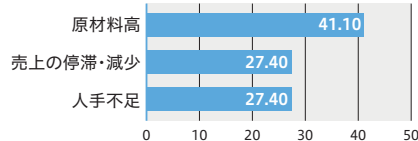
製造業



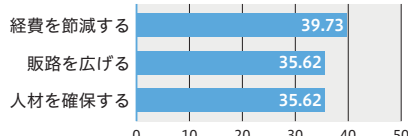
- 売上高や受注残には持ち直しの動きがみられ、今後の回復期待が高まっている。
- 原材料価格の高止まりは続くものの、販売価格への転嫁が進み、収益改善の余地がある。
- 売上・収益は改善しており、来期も回復基調が続く見込み。受注面の持ち直しも進んでおり、伸長する見通し。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



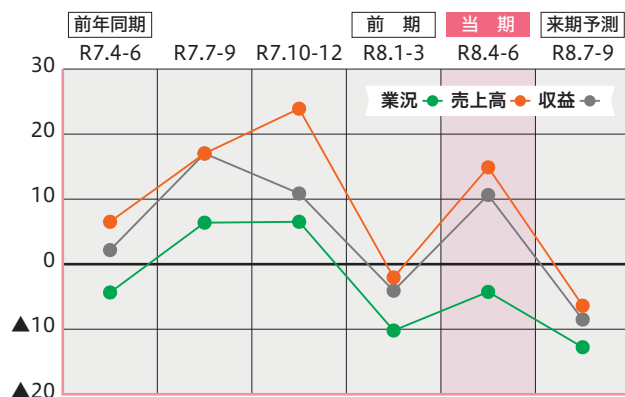
調査員コメント

- ・中東情勢の影響を受けるも、早期対応と在庫管理に取り組み、損害は少なく抑えている。(蒸気タービン部品製造)
- ・主要取引先が大手グループ企業であることから安定的な受注があり、仕入値上昇分も販売価格に転嫁できている。(厚鋼板製造)
- ・原油高騰の影響により若干の影響はあるが、販売価格を調整し収益を保っている。(プラント機器製造)

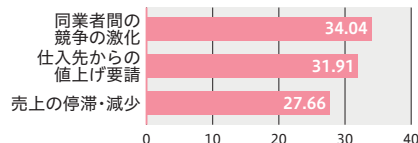
卸売業



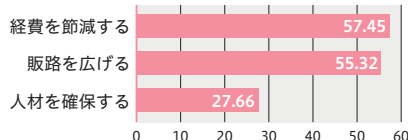
- 売上高は当期に回復するも、来期はマイナス水準で推移する見込み。
- 販売価格の適正化が進み、利益確保に向けた前向きな流れとなっている。
- 前期から当期の改善基調を踏まえ、来期も需要回復や収益性向上を背景に堅調な推移が見込まれる。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



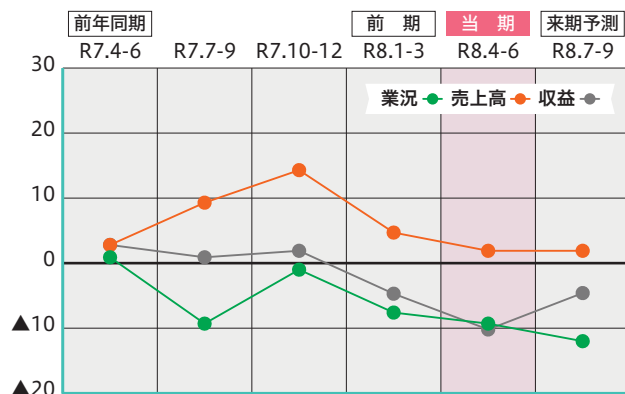
調査員コメント

- ・海外製品を取扱っていることから国外の景気を注視しながら価格設定を行い、収益を確保している。(アクセサリ卸)
- ・木材の価格改定を適宜行い、売り上げ確保の体制を整えている。(合板、住設機器卸)
- ・厚生労働省の入札案件を積極的にっており、売上増加傾向にある。(美容器具販売)

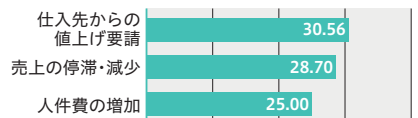
小売業



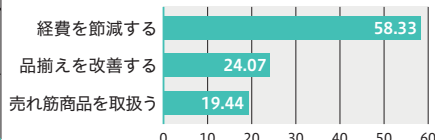
- 売上高は前期と比較し減少しているがプラス水準を維持しており来期も同様に推移する見通し。
- 収益面は冬季に底堅さがみられ、来期は採算面の改善が期待される。
- 前期と比較し一部に持ち直しがみられ、今後についても改善に向けた動きが期待される見通し。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



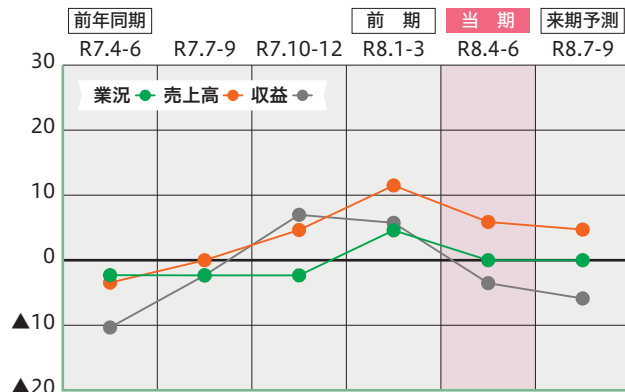
調査員コメント

- ・価格転嫁に成功するも、人材が不足しているため早期の採用が必要となっている。(自動車販売)
- ・原材料が高騰しているが、値上げを行った際の顧客離れを懸念している。現在の業況は良好。(和菓子製造販売)
- ・価格改定を行いながら経費削減を行い、収益を確保している。(飲食料品販売)

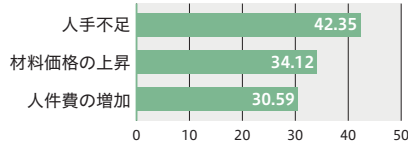
サービス業



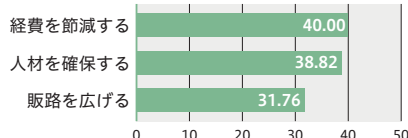
- 業況は前期より減少しているが、来期予測まで横ばい予測となり慎重ながらも安定した見通し。
- 売上高は前期比5.6ポイント減少するも、当期、来期予測と引き続きプラス数値を維持している。
- 全体として業況は安定しており、社会情勢に対応しながら今後の改善が見込まれる状況。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



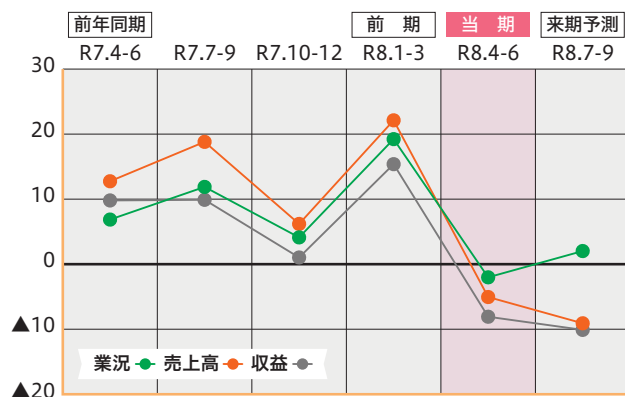
調査員コメント

- ・固定客中心の営業形態のため価格転嫁を反映しやすいが、原材料が高騰しているため、対応に苦労している。(車両販売・整備)
- ・今後ナフサ不足による影響が懸念されているが現状は収益を確保している。(ビルメンテナンス)
- ・新たに導入した設備が売上に大きく貢献しているが、燃料等のコスト高を懸念。(建材運送)

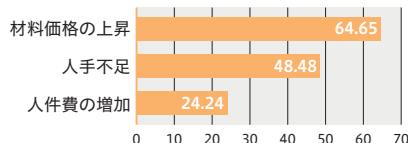
建設業



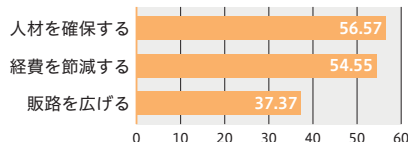
- 業況は前期比21.2ポイント減少するも来期は持ち直しの予測となり回復基調となっている。
- 売上高は当期落ち込んだものの、来期には下げ幅が緩和し改善に向かう流れがうかがえる。
- 全体として、当期は弱含みしたものの、来期にかけて改善基調が見込まれる。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



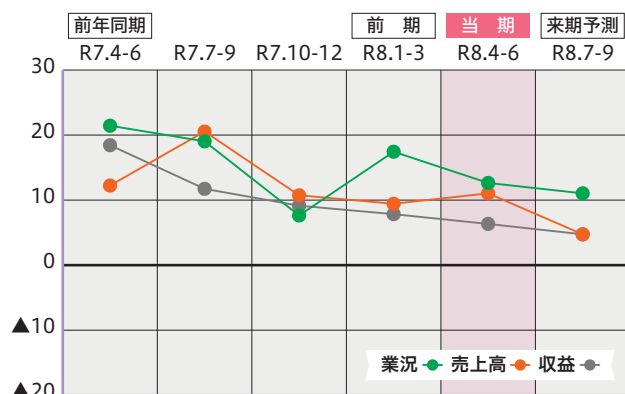
調査員コメント

- ・中東情勢によりナフサ関連の材料納入が遅延し、工期に影響している。(電気工事)
- ・材料価格が高騰しているものの、価格を改定することにより価格転嫁を行っている。(内装工事)
- ・公共工事を中心に安定した受注を確保。経費削減に注力し、売上、利益ともに堅調に推移している。(管工事)

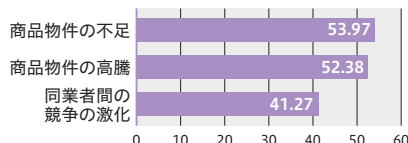
不動産業



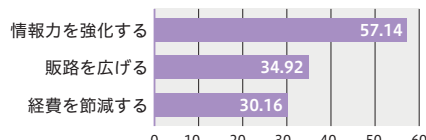
- 業況は前期比4.8ポイント減少するもプラス水準を維持しており安定が見込まれる。
- 売上高は前期比1.6ポイント増加し、来期もプラス水準となる見込み。
- 全体として前期より持ち直し傾向がみられ、当期は底堅く推移し、来期は緩やかな改善が期待される。



経営上の問題点 上位3項目(%)



当面の重点施策 上位3項目(%)



調査員コメント

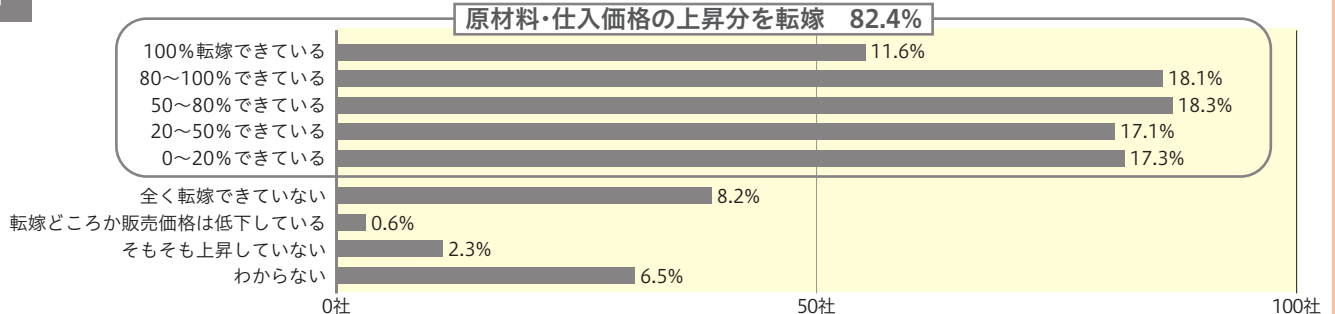
- ・物件売却は順調であるが、造成費、販売価格の高騰に伴い顧客離れを危惧している。(不動産売買)
- ・主に競売物件を仕入れており、業況は堅調に推移している。(不動産賃貸)
- ・中東情勢の影響により化学製品が不足。工期遅延にならないよう調整し営業している。(不動産建築)



中小企業における価格転嫁について

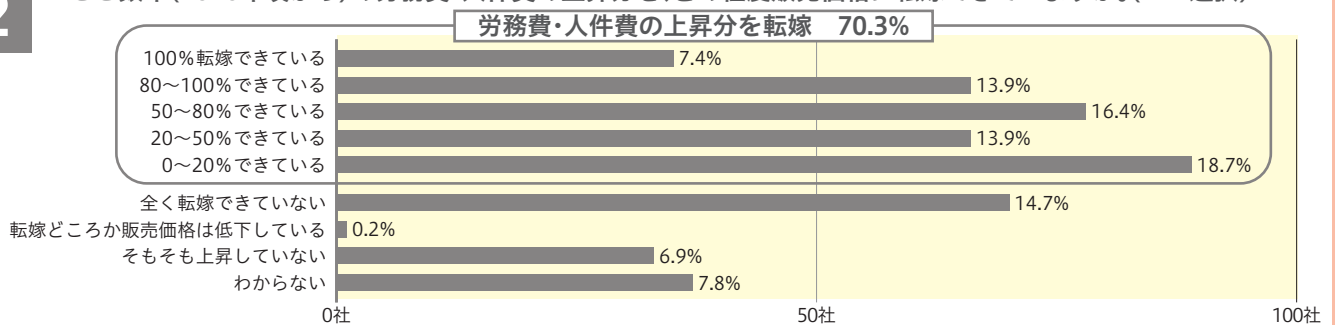
1

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。ここ数年（2020年頃から）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。（1つ選択）



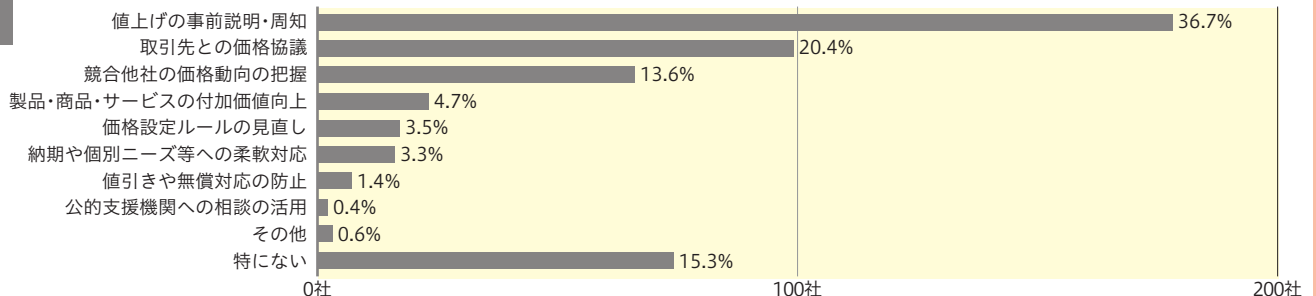
2

ここ数年（2020年頃から）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。（1つ選択）



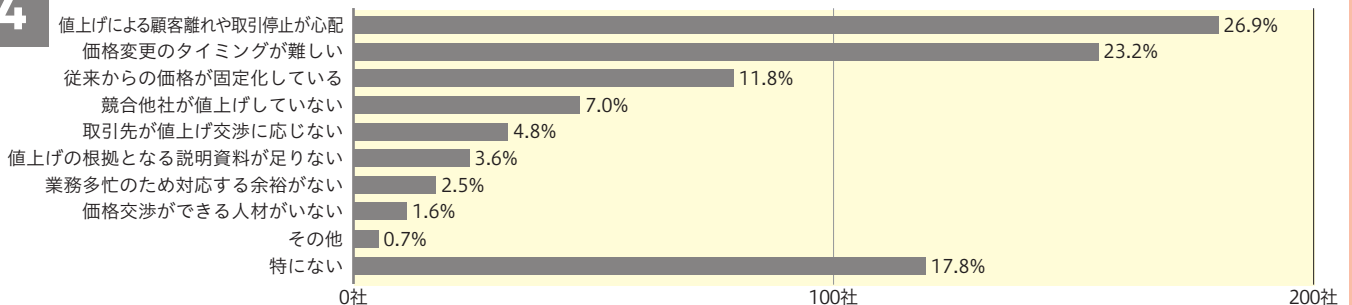
3

取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組み。（3つ以内）



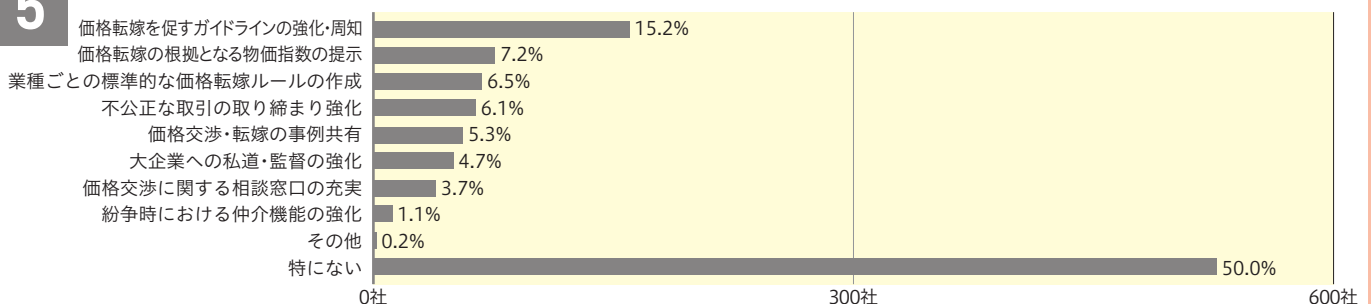
4

貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題。（3つ以内）



5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組み。（3つ以内）



ちばしんきん経営者会のご案内

- ・ちばしんきん経営者会は、千葉信用金庫お取引先の経営者で構成する、30年超の歴史を持つ会員組織です。
- ・「経営力の向上と企業の健全な発展」を目的に、会員ニーズに合ったセミナーや業種の垣根を超えた交流会を定期開催しています。

会 員 数 291名(令和8年5月末時点)

事業年度 6月1日から5月31日

会 費 年額10,000円



AI活用セミナー 開催予定のお知らせ

AIに関心のある皆さまを対象に「AI活用セミナー」を秋ごろに開催予定です。本セミナーでは、AIの基本や生成AIの活用方法、業務効率化のヒントなど、一般的なAI活用のポイントをご紹介します予定です。

ちばしんきん経営者会への加入をご検討中の方のご参加をお待ちしております。

開催日時・場所などの詳細は、決まり次第改めてご案内いたします。

また、セミナー終了後には、交流会の開催を予定しております。情報交換や親睦を深める機会としてぜひご活用ください。





第90回 ちばしんきん景況レポート

千葉信用金庫、ちばしんきん景況レポートへのみなさまのご意見ご要望をお寄せください。

お問い合わせ

千葉信用金庫 企業サポート部
TEL:043-221-3111